



大阪YWCA

8
2024

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

10代の孤立と向き合う

大阪ミナミでの活動から見えてきたこと

入谷 佐知



大阪有数の繁華街であるミナミのエリアは、虐待などを背景に家庭に居場所がなく孤立する若者がSNSを介して集まる。道頓堀の観光名所であるグリコの看板のたもとを「グリ下」と呼び、若者が集まる居場所となっている。

そのグリ下近くにD×Pがテナントを立てフリーカフェを開いたのが2022年8月。彼らの日常の延長線上に自分を気にかける「否定せず関わる」大人と出会える、そんな場所を作りた」とテナントを出し始めた。カフェではお弁当や飲み物、生理用品、避妊具などを用意した。グリ下に集まる若者は、本人が困難を抱えていることやしんどい状況であることに気づけていなかったり、気づかないふりをして耐えている人もいる。私たちは半年以上テナントを出し、そ

こで徐々に関係性ができ、病院へ一緒に行ったり、生活や仕事の相談にのったりするようになった。

彼らはこれまで大人との関わりを通して傷つき、不信感を持っているため、福祉的な支援や大人に対してあきらめにも近い気持ちを抱いている。そして性的被害や借金、犯罪に巻き込まれたり、若者グループ内でのトラブルに遭遇しても、家族・学校など誰にも相談することができず、さらに居場所を失い、孤立していく。

2023年6月、私たちはグリ下から数分ほどのところに、繁華街での新しい居場所、そしてセーフティネットとしてユースセンターを開いた。ユースセンターには3つの機能がある。
①エネルギーをためられる。あたたかいご飯や休息、クリスマス

スなどの行事といった本来家庭で得られるかもしれないものもチャージする。②自分の意見が尊重され、自治的な経験ができる。ユースセンターの運営に対する意見を言える、一緒に企画をしたり・掲示物を作るなどの活動を通して「自己決定」の経験を得る。本人がもともと持つ力を奪わない関わりが大切だ。③自立に向けて一緒に考えてくれる人とながる。この先も人の手を借りながら自分なりに生きていける環境を作ることを目指している。「人の手」を借りることが辛い経験にならないよう役所や病院・警察など他機関につながる際には一緒に行動したり、事前に話す内容を整理したりする。

もし繁華街に「ここは相談窓口です。どうぞ」と構えられても若者にはとても行きにくい。

「おながやすいた」「充電したい」がユースセンターに来る理由でもいい。そこで一緒に関係性を作っていくことで「この人の手ならつないでもいいかもしれない」と思えるようになることが大切だと思っている。まずは一緒にご飯を食べたり、一緒に遊んだスタッフの手をつないで、そのあと社会にある様々なリソースとの手をつないでもらえたらと。ユースセンターはそういう中継地になれたらいいのかなと思っている。
(6月9日講演まとめ)

いらたに さち

認定NPO法人D×P(デイーピー)理事・ディレクター
親と暮らせない子どもたちの支援や、児童養護施設の仕事局運営に携わったのち、2013年NPO法人D×Pにジョイン。D×Pでは2024年現在、様々な事情を抱えた若者のためのLINE相談「ユキサキチャット」事業と、繁華街の若者に関わる「ユースセンター」事業を行っており、同法人の経営・全事業の統括を担う。

軍事化する南西諸島

～三上智恵監督は訴える～



『標的の村』『沖縄スパイ戦』等の作品で知られる三上智恵監督の最新作映画『戦雲(いくさぶむ)』は、軍事化に翻弄される南西諸島のドキュメンタリーである。

南西諸島の軍事化は、2016年以降急速に進んだ。与那国島に陸上自衛隊(以下、陸自)駐屯地が開設、住民に事前説明なくミサイル配備の予算が計上、宮古島に陸自駐屯地が開設、ミサイル配備、住宅地から200mの場所に弾薬庫が完成、奄美大島でも、陸自駐屯地とミサイルが配備された。石垣島では、陸自配備の賛否を問う住民投票を求め有権者の3分の1以上の署名が集まったが、市議会が否決、投票はされなまま2023年、陸自駐屯地が開設、ミサイルが搬入された。

三上監督は著書の中で、昨年改定された安保三文書は、「最悪の場合、報復攻撃の戦場になるもやむなし」と、現地の犠牲を覚悟したものであり、軍事化、民主主義のないがしろは、沖縄だけの問題ではないと警告している(※1)。

政府は、今年、全国16の港・空港を、有事に備え自衛隊等が訓練等で使用できるように整備する案を発表、さらに、日米両首脳は、米軍と自衛隊の連携強化に向けた指揮・統

九州・南西地域における主要部隊新編状況(2016年以降)(概念図)



出典:令和4年度防衛白書

制の枠組み向上に合意したが、自衛隊の独立性が脅かされる懸念があると猿田佐世・新外交イニシアチブ代表は指摘する(※2)。

また、「沖縄の負担も問題だが国防も大事」という一部世論に対しては、猿田代表の以下の意見を要約して紹介したい。

- ・軍拡競争は相手を刺激し、偶発的な戦争勃発の危険性があり、沖縄だけでなく本州の基地や自衛隊駐屯地周辺も攻撃の対象になる(※3)。
- ・日本は米中対立に巻き込まれるのではなく、独自に平和外交を目指してASEAN・韓国と連携して、米中対立の緩和を呼びかけるべき(※4)。

沖縄を軍事要塞化する前に外交力で平和を目指す道があると一人は示している。

三上監督の講演会が、国際女性年大阪連絡会等主催で開

催される。「国防」とは何か、民主主義はどう守るべきか、共に考える機会になるだろう。

参考文献

※1 『戦雲 要塞化する沖縄、島々の記録』2024年集英社新書

※2 新外交イニシアチブH/P掲載 サンデー毎日4/20「岸田「従米外交」に異議 日中外交がなぜ不在なのか!」
<https://www.nd-initiative.org/contents/12496/>

※3、※4 新外交イニシアチブH/P掲載 政策提言「戦争を回避せよ」
<https://www.nd-initiative.org/research/11342/>

(文責 編集部)

講演会 **戦雲 要塞化する沖縄** いくさぶむ

～おばあちから紡ぐ弥勒世～ みるくゆ

講師：三上智恵

18:30～20:30 @ドーンセンター1階

参加費千円、学生無料

主催：国際女性年大阪連絡会等

8/22(木)

女性のキャリア



私は昨年5月から就職活動を始めました。かつて、活動や授業の中で女性のキャリアについて聞いても、現在は育休への配慮も進んでおり困ることはないのではと感じていました。しかし企業の説明会へ参加し、自分のキャリアについて考えてみると、結婚や出産・育児によってキャリア形成が大きく変わること、何かを得るために何かを諦めなければならぬ状況が生じてくることを、身をもって感じました。企業でも、取得できる育児休暇の期間を延ばすなど努力されていますが、まだ制度が十分に整っていない企業があることも事実です。より女性が働きやすい世の中にするために、企業が新たな施策に取り組むことができないう要因を突き止め、社会全体で支援することが必要であると、就職活動を通して感じました。

(会員 古川 ひなた)



会場の西南学院

2024 日本YWCA 中央委員会報告

2024年5月25日 (土) 10時半～17時半、西南学院中学校・高等学校 (福岡市) で、2024年加盟YWCA中央委員会をオンライン併用のハイブリッド開催、38名出席、17名倍席、3名傍聴、ほとんど対面参加だった。先立つ5月15日(水) 19時半～21時にオンラインで、24日(金)には福岡YWCA会

館で対面による会長会を32名参加により実施した。全国の加盟YWCA会長、総幹事、日本YWCA運営委員・職員が一堂に会し、1年間の日本YWCA活動(事業)報告、決算報告、次年度の予算および事業計画の説明を受け承認する中央委員会、大切な議事に加えて、3月にニューヨークで開催された国連女性の地位委員会(通称CSW)への派遣ユースからの報告、日韓ユースカンファレンス参加ユースからの報告もあった。ユースからの報告は

いずれも、パワーポイント視覚資料を用いた明瞭な説明で分かりやすく立派だった。議事が時間を多く要するため、持ち寄り品購入や交流の時間は少なかったが、志を同じくする全国の仲間と分かち合う機会に、終始楽しい空気満ちていた



中央委員会 会議の様子

ように感じた。

今回の中央委員会では、どの地域でも高齢化が進み会員数が減少、活動を維持することも困難な状況になっている現状を打開し、YWCA活動の仲間を増やす工夫、「追加会員制度(案)」作成について、日本YWCA運営委員から説明、質疑が行なわれた。11月23日(土)・24日(日)開催予定の全国会員総会で、具体的な案が示される予定。仲間と共に知恵を絞って、先輩方が積み重ねて来られた様々な意義ある活動を維持・発展して行けるようにしたい、と改めて思った会だった。

(会員 津戸 眞戸)

Books

編集部文庫

「パレスチナ人は苦しみ続ける なぜ国連は解決できないのか」

現代人文社

著者 高橋 宗瑠

「パレスチナで今も続く『民族浄化』『アパートメント』。国連の現地事務所駐在した『人権野郎』がみた惨状」

(本書籍帯より)。

2009年3月～2014年5月、国連人権高等弁務官事務所パレスチナ事務所副所長としてエルサレムに駐在した著者(現大阪女学院大学教授)に紹介されたパレスチナ問題の入門書。



* LIA企画「沖繩と大阪を結んで女性の権利とジェンダーの課題を考える」は2年目の今年8月に、大阪市内をめぐるフィールドトリップを実施します。7/13、その事前学習として関西大学人権問題研究部の仲間恵子(元大阪人権博物館学芸員)さんに「大阪における沖繩コミュニティとコリアタウン」というテーマでお話し頂きました。沖繩は1872年の琉球処分

で、韓国朝鮮は1910年の日韓併合で名前や文化を奪われ日本への同化を求められました。大阪は明治から昭和初期まで「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど紡績産業が盛んで、彼らがその安価な労働力として搾取され続けたことがよく解りました。戦後、沖繩は米国に統治され、在日コリアの人々には

外国籍を持つ非日本人として指紋押捺という負の歴史が始まります。お話を伺い今年の入管法改悪につながる日本の経済優先と排他的な傾向がより鮮明になりました。

労働力の搾取という視点で、仲間さんは「釜ヶ崎」についても触れました。1970年万博をきっかけに日本各地から「釜ヶ崎」に集まった労働者は高齢化し、「釜ヶ崎」は今や貧困ビジネスの巣窟になり、様変わりしています。8月には「生野コリアタウン」と「西成釜ヶ崎」を巡ります。今夏、大阪の人権問題の今に触れる旅に、是非ご参加ください。

(会員 辻川 さとみ) *日本YWCA地域YWCAを主体としたプログラム助成事業

聖書の言葉

いつも喜びなさい。互に励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和に過ごしなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいて下さるであらう。

コリント人への第二の手紙 13章11節(新約聖書口語訳)



創立1884年 平和を創り出す人に

大阪女学院

中学校・高等学校

<http://www.osaka-jogakuin.ed.jp/>

大学・大学院・短期大学

<http://www.wilmina.ac.jp/>

日本語学科
卒業生

今こんなことしています

～世界各地で活躍している卒業生を紹介しています～

禹 成姫さん

1997年卒(中国・黒竜江省出身)

20数年前、大阪YWCA専門学校を卒業後、教育の仕事をつと続けてきました。主に留学生対象の専門学校や日本語学校、そして日本人が外国語を学ぶ学校の運営をしています。様々な国の学生たちをサポートするのは大変ですが、自分自身が学んでいた時の苦労や経験を活かせる、やりがいのある毎日です。日本と世界各国との架け橋を目指してグローバルな視野で活動しております。



むらさきつゆくさの会

30周年記念行事を行いました

2024年6月11日(火)

於：未生流中山文甫会館



むらさきつゆくさの会は視覚障がい者のための生け花教室です。

大阪YWCA専門学校 奨学金授与学生を紹介

仙台宮城野奨学金 3名



テスモーンさん(ミャンマー)
奨学金をもらったのでとても助かりました。今、日本語能力試験が近づいているのでアルバイトを休んで安心して勉強することができます。奨学金を与えてくださった先生方に本当に感謝しています。



劉思宇さん(中国)

この奨学金をいただけることを非常に光栄に思います。皆さまの認めを得ることができ、これ以上の喜びはありません。しかし同時に、自分の不足を深く感じています。もっと相応しい人間になるため、将来、他人の支えとなるため頑張ります。



マルガドさん(モンゴル)



私にとって大阪YWCA専門学校から奨学金を受け取ったことに本当に感謝しています。なぜならそれは将来、私の夢の実現する第二ステップになりました。最初のステップは両親が私を日本の学校に通わせてくれたことでした。その後、学校は私を信頼してサポートしてくれました。皆さまの信頼を失うことなく、より責任を持って夢を実現させてまいります。改めて本当にありがとうございました。



鈴木保奨学金 1名

ニンジンさん(モンゴル)

本当にありがとうございました。この奨学金は私にインスピレーションを与えるものだと考え、次の学校に合格できるように頑張ります。



文部科学省学習奨励費 1名



バトムンクテムールンさん(モンゴル)
奨学金をいただけることは、私の努力が認められた証であり、これからの学業と人生において大きなモチベーションとなっています。皆さまの暖かいご支援を胸に、私はこれから一層努力し、学業に励んでいく所存です。本当に感謝しています。



ご協力ありがとうございました
[24/5/1~24/6/30] 敬称略 順不同

賛助費

- 石井由佳子 石神佐知子 宇部宮ゆかり
- 大平美保子 岡あづさ 川上 光子
- 國里 順子 黒田 朋子 河野 栄子
- 少徳 充子 田中 義信 田邊 昌代
- 徳平 真弓 西名 貞子 花岡千代美
- 平櫛 圭甫 藤田 恭子 望月 文子
- 松田真理子 水尚子

寄付

奨学金

点学

- 笠野 卓
- 栗野 陽一

会員維持費

- 秋山 佳子 荒木 慧子 飯田 雅子
- 家石 貞子 井上由貴子 妹尾 弓子
- 内坂 建 大杉美耶子 大原千恵子
- 片山 淳子 加藤 康子 河合美枝子
- 川勝 宏子 川上 悦子 金香百合
- 額織 美香 木幡 弘子 古山 幸子
- 齋藤 知子 坂上 信子 鹿野 幸枝
- 穴戸 百子 末吉佳世子 鈴木 一代
- 田口 美智 立野 智子 田中 慶子
- 田中真砂子 谷 佐代子 谷川いづみ
- 辻 加代 寺坂阿佐子 寺脇さつき
- 都木 恵子 徳広 彩 永井 淑子
- 中山 光世 野上由紀子 藤岡美智子
- 藤林 昭子 平櫛 紀子 帆足 文子
- 堀本千代子 前川 契子 暮谷安紀子
- 村松 通子 森垣 房子 山川 文子
- 山高万寿子 山田 智子 渡辺 知子

募金

8口 195、576円

訃報

会員 古山 幸子さん
6月12日逝去(82歳)

5月運営委員会報告

ト部 オーストラリアからの
インターン生10・11月に受入

▼グループパレット 4/12
奈良公園でお花見▼梅田会員

部 4/20まちあるきツアー

▼日本語教師会 立命館大学

6/8月講師派遣

【協議】①中央委員会議題

追加会員制度について意見交

換 ②関西3市Y(神戸・京

都・大阪) 合同世界YWCA

日集会振り返り ③文化祭ア

ンケート振り返り ④8/27中

国YWCA訪問受入行程確認

6月運営委員会報告

【報告】▼財務委員会 賛助員

案内、勧誘 方策検討中 ▼梅

田会員部 5/16/23気まぐ

れバザー ▼千里委員会

6/1千里バザー 目標の倍

を超える売上

【協議】①今後の関西3市Y

協働検討 ②年間主催プログ

ラムについて、各検討メンバ

1での検討継続、担当職員配

置確認

新入会員歓迎!!

☆梅田

- 石川 裕子 請田 幸美
- 竹内真規子 中石 健斗
- 橋本 拓実 濱松 晃大